

さとひがし

大津市立仰木の里東小学校 学校だより 7月号②

☆自ら学び、心豊かで

たくましい子どもの育成

「み」 自ら学ぶ子

「や」 やさしく思いやる子

「げ」 元気な子



令和4年7月20日



いよいよ明日から夏休みです！

今年度に入ってから新型コロナウイルス感染状況は大変厳しく、ここ数日は感染症が再拡大しているようで、「第7波の到来」と報じられています。また、7月に入ってから、大変暑い日が続き、学校では熱中症予防対策にも苦慮してきました。保護者の皆様や地域の皆様に支えられながら、ようやく、本日、1学期の終業式を迎えることができ、ほっとしております。

さて、そんな中ですが、子どもたちは大変元気に1学期を過ごしてきました。写真は、6年生が1年生にプレゼント

したメダルです。本来ですと「1年生を迎える会」を開催し、その場でプレゼントしているものですが、今年も感染症予防対策の一環で、各学年からのプレゼントも個別に渡すことにしました。1年生は「お礼の動画」を作成し、各学年に見てもらいました。かわいいダンスが中心の動画で、お兄さん姉さんへの感謝の気持ちがきくと伝わったことと思います。このように、「工夫しながら」「できる方法で」「できる限り」様々な教育活動を進めてきました。

滋賀県において「感染レベル1」となってからは、音楽科において歌唱指導や器楽演奏（鍵盤ハーモニカやリコーダー）を再開したり、ペアやグループでの意見交流の時間を少し長くしたりするなど、感染防止対策を取りながら、少しずつできることを増やしてきました。「プール学習」も1クラスずつですが、実施することができました。「プールができるかどうか」（今年は雨だけでなく、熱中症予防のため中止になることもありましたが）に一喜一憂している子どもたちの姿がとてもほほえましく、大変印象に残っています。



学級懇談会につきましても、すべての学級で開催することができました。雨の中、ご出席いただき誠にありがとうございました。25分間という大変限られた時間ではありましたが、保護者の皆様に久しぶりに一斉に教室にお入りいただき、担任から直接「1学期の学級の様子」や「夏休みの課題」等をお伝えすることができ、学校といたしましても、大変うれしく思っております。

夏休みを有意義にお過ごしください！

厳しい暑さが予想される今年の夏休み。新型コロナウイルス感染症も心配されることから、遠くまでお出かけする機会もそんなに多くないだろうと思います。おうち時間も増える中、「子どもたちにどんな体験をさせようか」「家でどうやって過ごそうか」と、考えておられる保護者の方も多いことではないでしょうか。こんな時だからこそ、地元「仰木の里」の魅力に触れたり、「滋賀県」を満喫したりする機会にしてみたいはいかがでしょうか。

例えば… ○朝夕の涼しい時間に、家族でお散歩する。 ○仰木の棚田まで歩いて出かけてみる。 ○夜の公園や神社に出かけ、セミの羽化を観察する。 ○天神川に出かけ、子どもたちと一緒に生き物観察をする。 ○家の近くでブルーシートをしいて、寝転がって星空を眺める。 ○琵琶湖で泳いだり、釣りをしたり、湖岸で貝殻や流木を集め、砂浜に飾ったり、工作したりする。 ○自転車で「ピワイチ」に挑戦。どれも、明日にでもできそうですが、たっぷりの時間がないと意外と実行できないものです。子どもたちの希望を聞いて、ぜひ一つ、この夏にご家族一緒に思い出をつくっててください。

我が家の1か条

大津市教育委員会では、子どもを育むための取組の一つとして、『家庭の教育力の向上』を掲げており、「おおつ家庭教育5か条」を制定しています。家族で実践したい「我が家の1か条」や、家庭教育5か条をテーマにしたイラストを募集しています。各学級で配布した募集要項（夏休み作品募集一覧表 国語の⑦）をお読みいただき、応募用紙によりご応募ください。たくさんの心温まる作品を、お待ちしております。